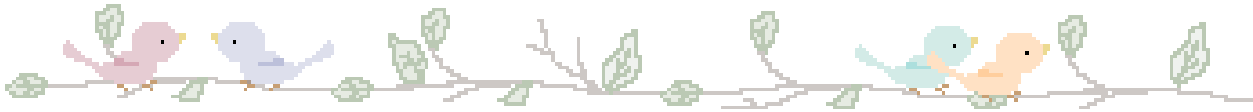


# 「ゆうゆう北久里浜だより」



## 豆まき

豆は「穀物の精霊が宿っている」として神聖なものとして見られていたので、豆まきだけでなく、神事にもよく使われていました。また、魔を滅するという『魔滅（まめ）』という漢字が当てられ、豆をまくことで鬼を追い払う（魔を滅する）という風に使われています。さらに、「鬼が出たとき、毘沙門天のお告げで豆をまいて鬼を退治した」という逸話もあります。

まず、準備するものとして、福豆（炒り豆） or 落花生とお面。節分といえば“豆”というというのが一般的ですが、最近は『落花生』を用いる家庭も多くなっています。ちなみに、落花生をまくのは殻付きの状態です。落花生は、『芽が出ない』『あまり散らばらない』『拾いやすい』『拾って食べるのに抵抗がない』など様々なメリットがあります。また調べてみたところ、落花生をまく風習は北海道、東北など寒い地域や鹿児島・宮崎で多く見られる風習だそうです。

元々落花生の風習の発祥は北海道で、「雪の中で豆まきをしてもその後拾って食べることが出来る」という、合理的な理由から落花生が使われ雪が盛んな地域で主に広まりました。

## 初詣、新春詩吟の会



新年を迎えて衣笠にある大明寺に初詣をしたり、1月10日はナーシング詩吟の会の方々も含めて新春詩吟の会を開き日頃の練習の成果を披露していただきました。

## 獅子舞、ナーシング神社



1月4日には獅子舞がナーシング神社前で奉納され、皆様には甘酒を召し上げて頂いたり獅子に噛んでもらって幸運を祈ったりしました。

## 外出レクリエーション



12日、16日に蟹甲羅、20日にはにぎり一丁、24日に観音崎自然博物館で「種」をテーマにし展示を鑑賞しに出かけました。

## 音楽療法



21日に先生をお迎えしての音楽療法で大きな声で元気に歌って頂きました。



## 横須賀名所紹介

### 白髭神社



祭神は建御名方命（たけみなかたのみこと）です。創建に関してはわかりませんが、諏訪神社の社記によれば、1575年（天正3年）3月となっています。1573年（天正元年）ともいわれています。信州にある諏訪明神の御霊を遷しお祭りしました。かつては、横須賀村字中横須賀瀧にありました。住民の多くが漁業に従事していたため、漁業や海運の神様として崇拝されていたものと思われます。明治時代になり、海岸の埋め立て工事や軍事施設の建設などのため、現在地に移転しました。大正11年、指定村社となりました。大正12年、現在の社殿が作られました。境内右側にある水天宮は、1848年（嘉永元年）に祀られたと伝えられています。

## お知らせ

### ◆ 2月アクティビティ予定

- ・民謡教室
- ・書道教室
- ・メガネリフレッシュ
- ・詩吟の会
- ・たこ焼きパーティー
- ・ゆうゆう喫茶
- ・日本の唄を歌う会
- ・バレンタイン

### 訪問花屋

月1回久里浜にある花屋「ヌーンプロス」がナーシングホームに来て下さり、少し珍しいお花や季節の花々を入居者の方々がみて楽しんだり購入して部屋に飾ったりしています。



# ナーシングホーム 北久里浜

〒239-0807

横須賀市根岸町3-2-14

電話 046-838-5778